

中国の鉄スクラップ輸入量、2月は1万3千トン 依然続く低水準

中国の貿易統計によると、2月の中国の鉄スクラップ輸入量は前月比47.1%減、前年同月比9.2%増の1万3074トンだった。3カ月ぶりの2万トン割れ。なお12月は2万2139トン、1月は2万4720トンだった。前々月、前月ともそれほど伸びておらず、依然として低水準が続く。

国別の内訳は、日本が同55.9%減、同29.6%増の7,140トンで首位。2位は韓国で、同19.7%減、同19.0%

増の2,541トン。3位はマレーシアで、同58.4%減、同4.8%減の1,228トン。その他は1,000トンを超えなかった。

2025年1~2月累計は、前年同期比3.8%減の3万7794トン。国別の内訳は、日本が同微増の2万3313トン。2位は韓国で、同26.1%増の5,706トン。3位はマレーシアで、同7.6%増の4,176トン。4位はタイで、同90.5%増の1,319トン。その他は1,000トンを超えていない。

SRR林氏がエジプトについての新リポートを発表

鉄リサイクルに関する調査研究を行う鉄リサイクルリング・リサーチ(本社=茨城県北相馬郡、林誠一社長)は1日、「発展途上国シリーズ・3 エジプトの鉄源需給・現状と展望」と題した最新リポートを発表した。リポートはこれで通算96件目。

リポートによると、エジプトはアフリカ最大の粗鋼生産国。2023年の粗鋼生産は1035万トンで、2位の南ア

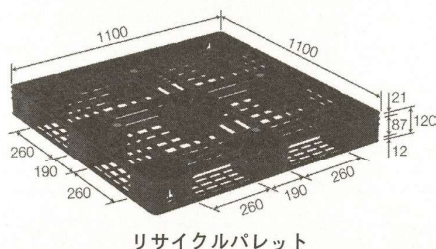
フリカ(490万トン)を大きく引き離している。エジプトの鉄鉱石埋蔵量は推定30億で、2023年の鉄鉱石生産量は780万トンと世界16位にランクインしている。

鉄源需給のセクションでは、23年の鉄源消費のうち鉄スクラップ消費が42%を占めることなどを説明。さらに「2050年の鉄スクラップ需給展望」などについて分析している。

ワンライブ、物流資材の販売事業を開始 大手2社と代理店契約

(兵庫) 金属リサイクルやアプリの開発を手掛けるワンライブ(本社=兵庫県尼崎市、土肥容高社長)はこのほど、プラスチック素材を中心とする物流資材の販売事業を開始した。さらに事業の開始に伴って、三甲(本社=岐阜県瑞穂市、後藤甲平社長)と岐阜プラスチック工業(本社=岐阜県岐阜市、大松栄太社長)の2社と販売代理店契約を締結した。

今回、販売代理店契約を締結した2社は物流資材の



リサイクルパレット

販売において業界大手企業となり、プラスチックパレットは2社を合わせて7割以上の販

売シェアを持つ。商品の中にはリサイクルパレット(再生樹脂パレット)も含まれており、ワンライブは温室効果ガス削減をテーマとし、リサイクルパレットを中心に物流資材の販売事業を展開していく方針だ。



詳細はこちら

なお、今回の締結により、ワンライブは全商品の販売が可能となる。

事業について土肥社長は「物流資材は販売価格が安定せず、これにより製造業では経営を圧迫するケースが増えていると聞いている。今後は事業を通じて、こうした課題を解決し、製造業とWin-Winの関係を築いていきたい」と意気込みを話す。商品に関する問い合わせは06-6439-7986、info-matehan@j-onelive.comまで。

油圧シリンダーのトップメーカーが生み出したハイテクの結晶!!

パワフル&スピーディに
鋳物原料を切断!!

POWERFUL
400tを誇る強力な切断能力

FLEXIBLE
長尺物や薄板にも柔軟に対応

SPEEDY
毎分4カットのスピード処理

COMPACT
場所を取らない省スペース設計

